

さとしゅう

議会だより

No.87

2017.1.31



岡山県 里庄町議会



未来輝く新成人

- 平成28年12月定例会 一般会計に1349万円の追加補正 …… (2)
- 農業委員の選出方法が変わります
各種証明手数料が上がります …… (6)
- 町政を問う！ (6人が登壇) …… (12)
- シリーズ“地域の子どもたち”(駅前子供会) …… (18)

定例会

平成28年第5回定例会は、12月5日から9日までの会期で行われました。議案は、平成28年度補正予算6件、条例の制定1件、一部改正8件、指定管理者の指定1件、人事案件1件、発議・請願各2件が上程され、請願1件以外は、原案どおり可決・承認されました。

なお、一般質問は、6人の議員が登壇し、町の姿勢や考えを問いただきました。

平成28年度補正予算

一般会計

道路新設、
用地
購入等

990万円

岩村地区の674号線
道路改良に伴う道路の新
設、用地購入費です。

小児医療費

520万円

対象者数は横ばいですが、給付件数が増加しているための増額です。



改良すすむ岩村道路

東・西幼稚園
預かり保育運営
補助金

110万円

利用者見込み人数の減少及び運営費の繰越見込みの減少に伴い、指導員賃金の支払いが不足するためです。

繰越明許費

7440万円

水路の改修、狭あい道路の整備、災害復旧工事のうち、今年度での完了



みんな仲良し

が見込めない事業を、次年度への繰越事業としました。公共土木施設が1760万円です。

そのうち4610万円が災害復旧工事で、農林水産施設が2850万円、

すべての議案について

一般会計1349万円の追加補正



むし歯はないかな？

12月補正の結果

会 計 名	補正後の金額	(補正額)
一 般 会 計	48億 14万円	(1349万円)
国民健康保険特別	14億2586万円	(916万円)
介護保険特別	9億4780万円	(212万円)
後期高齢者医療特別	1億4892万円	(△105万円)
水道事業会計		
収益的支出	2億9196万円	(13万円)
資本的支出	1億 236万円	(6万円)
公共下水道事業会計		
収益的収入	3億3995万円	(12万円)
収益的支出	3億1219万円	(12万円)
資本的収入	3億2818万円	(9万円)
資本的支出	4億6922万円	(9万円)

特別会計

里庄町国民健康保険
特別会計補正予算
916万円の追加
交付金額の決定に伴う
ものです。

里庄町介護保険特別
会計補正予算
212万円の追加
事務処理システムの改
修委託料177万円等
を導入します。
29年度から新シス
テムを導入します。

質疑

一般会計に2人、条例制定・一部改正3件に対し1人、介護老人施設里見川荘の指定管理者の指定に2人が行いました。

一般会計補正予算は、議員発議があり、予算決算委員会に付託し審議を行いました。

一般会計補正予算（第7号）

新しい道路に1000万円 かけるのは再考できないか

高田議員 ①東・西幼稚園の預かり保育運営補助金が110万円不足になった理由は。

②岩村交差点改良工事で、信号機の設置により付近の方の出入りが難しくなるので、東側民家前に道路を造るという説明だが、

①交差点の中にも出入り是可以する。安全確認しながら出入りするという考えがなぜ

とれないのか。

②西側民家へ入る道路は、今は個人所有か、町道か。

③高岡方面からザグザグ方面に行くとき、信号がつかえるとこの道が迂回路になり、かえって危険ではないか。

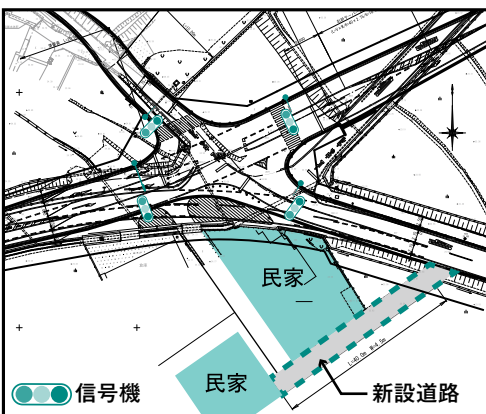
④東側民家だけ東へ出る工事なら、半額で済む。新しい道に1000万円近くかけるのは、再考できないか。

教委事務局長 ①見込みより利用者が少なかったことと、前年度からの繰越金が減少したため。

農林建設課長 ②警察協議の中で、11月に信号機設置が固まったため、90万円かけて道路を新設する必要が出てきた。

①東側民家に接する道路面は、今約15cm上がっているが、今の片勾配から中央勾配になるので、さらに15cmほど高くなる。先が見えないまま県道に出る形になり、危険。

西側民家も、



岩村交差点改良工事図面

右折は交差点の真ん中に近い形になるので、とても難しい。

②個人の道路。

③通り抜けされない形にするため、話は十分する。④以前から事故多発の交差点を安全にする事業。近所の方が危険な状態が残るのは問題。

岩村の交差点、安全ない信号を

仁科英議員 ①災害復旧事業費の繰越明許について、

①工事費予算7500万円のうち、3分の2に近い4610万円の繰越明許は、大変異例。

今なぜ繰越明許が必要なのか。

②58か所のうち、繰り越しは幾つか。新しいものが入っていないか。

③繰越額の中に、前金払い分も入っていないか。

④繰越し事業の基準は。大きいものでも、急ぐものは早くすべきではないか。

②ふるさとづくり寄附金

の増について、

①27年度は、幾ら入り、幾ら町外に出て、差し引きどうなっていたのか。

②今年の増加理由は、③制度があるからには、返礼品を増やして頑張るをええないと思う。

考え方を問う。

④この制度は、本来の趣旨から相当外れている。本来の趣旨に戻すよう働きかけることについて、どう進展しているか。

③①東・西幼稚園預かり保育運営費の不足額110万円の積算の説明を。

②不正支出の返還はされたか。

その分を不足額に充てられないか。

④岩村の信号機について、
①2年前の計画変更の説明の時に、地元は強く要望したが、町長は、難しいとの話だった。

あの時、町長は、なぜ一緒に要望しようと言わなかったのか。

その後どういう働きかけをして、こうなったのか。

②30m離れたものもあり、遠くに見にくくないか。せつかく作るなら、安全ないい信号にして欲しい。

位置、距離を変えることはできないか。

農林建設課長 ①①国費の査定が10月で、その後設計書をつくり、県の審査、発注となるので、遅くなった。

起債のヒアリングも11月に終わったばかり。

発注はこれから。工費が100万円を超える、工期が75日要る。

②委員会で説明する。

③これから発注する案件は、翌債という意味で事業費全額をあげている。
④危険な箇所の応急工事はした。

また、小さいものは、簡単な積算ですぐ発注済み。

設計・積算が必要なのは遅れぎみで、公共2件は発注済みだが、今後発注する100万円を超える案件は全てあげた。

④①こちらからの働きかけは、特にしてない。

8月に、要望したらつく可能性はあるという話があり、協議を進めた。

②もうできないと思う。

企画商工課長 ②①詳細な資料が手元にない。

②本年度からクレジット納付を導入した。

それによる納付が約80%、96件ぐらいある。

③返礼品の割合は変えていないが、5万円以上については2品にし、選べる品も増やした。

教委事務局長 ③①今資料が無いので、委員会で

提出する。

②27年度約40万円、26年度、25年度各10万円で、全て返還されている。

これは、こちらの会計には入れず、保護者等で相談し、子ども達のために使ってもらう。

町長 ②④私も同じ考え方。

町村会で要望したが、国へ要望するとか、それに対する結論、反応はなかった。

④①まず道をきちんとするということで、信号の設置をしないのは、やむを得ないという判断をしていた。

8月に突然課長から報告があり、それならつけて下さい、必要な対応はするからとお願いした。

また、災害復旧費4610万円の繰越をなぜ12月で決定するのか。年度内に行う災害復旧事業も含め確認を行いました。

小児医療費では、520万円の追加が計上されているが、年々増加する医療費について、さらに、東西預かり保育運営補助金の内容等について、質疑がありました。

予算決算委員会

委員長報告

眞野委員長

12月5日、関係当局の説明をもとめ、慎重に審査しました。

この結果、委員会では、全会一致で原案を可決すべきと決しました。

なお、岩村地区道路改良工事については、現地調査を行いました。



現地調査(岩村地区道路)

町条例・指定管理者

制定

里庄町農業委員会の委員等の定数に関する条例

農業委員の定数 8人
農地利用最適化推進委員の定数 4人
これまでの選挙は廃止となり、委員は町長が任命（議会の同意）します。

一部改正

里庄町職員の給与に関する条例

人事院勧告をふまえての、給料表の平均0・2%の改定、勤勉手当の0・1カ月分の引き上げ等です。

里庄町国民健康保険税条例

所得割額および軽減判定に用いる総所得金額の

算定方法の見直しです。

里庄町税条例等

・延滞金の計算期間の見直し
・法人住民税法人税割の税率の引き下げ
（12・1%→8・4%）
・軽自動車税環境性能割の創設による町税の名称変更
（軽自動車税→種別割）等です。

里庄町証明等手数料条例

各種証明書交付手数料を現行100円から200円に変更します。

里庄町後期高齢者医療に関する条例

普通徴収分の納期を年4回から8回に変更します。

里庄町介護保険条例

普通徴収分の納期を年5回から8回に変更します。

職員の育児休業等に関する条例

養子縁組里親等の職員にも適用されます。

里庄町職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例

・養子縁組里親等の職員にも適用。
・介護休業の分割取得等です。

指定

里庄町介護老人保健施設里見川荘の指定管理者の指定

医療法人萌生会を引き続き3年間指定します。

質疑

里庄町農業委員会の委員等の定数に関する条例

農業委員8人、農地利用最適化推進委員4人とする理由は

仁科英議員

①農業委員

の定数8人、農地利用最適化推進委員4人は、どのような考えに基づくのか。

②委員の数は、差し引きからではなく、業務の内容によるべき。

制度上、今の委員の職務・役割は。新しくは。

③農業委員は、農地転用の審査以外では、今までどのような任務を果たしたか。

今後の予定は。

④報酬額の予定は。どこで決めるのか。

⑤農業委員は評価委員会です、推進委員は農業委員会で選考というが、現職優先の考えがあるのか。

農林建設課参事 ①当町の農地面積により、農業委員は上限14人、推進委員は上限4人。

現地調査等に現行の12名は必要で、推進委員を上限の4名とし、農業委員は8名としたい。

②農業委員は、現在は、

委員会に出席して審議・決定するのが主で、任意事務として、担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消を推進することがある。

改革後は、従前に加えて、農地等の利用の最適化の推進が必須となる。指針の策定、施策についての意見の決定等だ。

推進委員は、指針について意見を述べ、農業委員と連携して、担当区域で現場活動を行う。

③基礎資料作成のための現地調査や、苦情相談などを行っている。

④現在の額を変えない。月額会長2万8500円、副会長2万5500円、委員2万4500円。

推進委員は、2万4500円としたい。

3月議会までに検討。公募をかけてみないとわからない。

里庄町税条例（一部改正）

3400万円の減収は返ってくるか

仁科英議員 ① 提案理由

では、いずれも法改正に伴う条文整備との説明だったが、法人住民税法人税割の率を12・1%から8・4%に下げる部分は、単なる条文整備ではない。内容の詳しい説明を。

② 里庄町の税収は、幾ら減るのか。

減った分はどこへ行くのか。戻ってくるのか。

③ 地方交付税の原資になっても、里庄町に返ってくるとは限らない。

返ってくる算式になるように、運動しなければならぬのでは。

町民課参事 ① 法人税割

法律の改正により所要の改正を行う、と言う方が適切だった。

この税収を地方交付税の原資として地域間の税収の偏りを是正するために、この税率が引き下げられた。

引き下げられた分は、地方法人税、国税として納められるようになる。

② 平成27年度の法人税割で試算すると、約3400万円の減収となる。

この分は、国税として納められ、地方交付税に算入される予定。

③ 国からの方針が出ると思うので、それに基づいて検討したい。

里庄町介護保険条例（一部改正）

納付者・町・職員の手間が増えないか

仁科英議員 ① 介護保険

料の納付回数を今までの5回から8回にする、毎月納付にするというのは、大変いいとも思えるが、手間がかかるようになるとも思える。

どういう考えに基づいてこの改正が行われるのか。

② 口座振替の手数料は、1件幾らか。

誰の負担になるのか。

③ 今までは、普通徴収がどれだけあつて、何人が口座振替で、持ってきて納めている人が何人か。

口座振替による町全体での負担総額は幾らか。

④ 役場職員の事務的な手間は増えるのか減るのか。

町民課参事 ① 全体額は

変わらず、1回当たりの納付額を少なくすること

により、納め易くする。

また、仮算定を廃止すること、納入通知書を年1回にし、分かりやすくする。

回数が増えることについて、口座振替の利用により、納付者の手間も削減できればと考える。

② 銀行は1件21円、ゆうちょは電子データ10円、帳票30円で、負担は役場がする。

③ 現在、普通徴収は約160名で、そのうち約3割が口座振替を利用して

いる。

④ 事務は多少増えるが、職員で対応していきたい。



▲出たよ、お宝！

◀そおっと、そおっと

縄文後期の川底(干瓜 マキサヤ遺跡)

里庄町介護老人保健施設里見川荘の 指定管理者の指定

どう評価、萌生会2年半の運営

仁科英議員 萌生会から

しか応募がなかったという
ことで、選択の余地は
ほとんどないが、

①萌生会の2年半の運
営はどのように行われ、
町はどう評価しているか。

食事のことや迷惑行為
への対応その他、サービ
スの質は確保され、町民
が安心して入所できる施
設として維持されている
か。

②入所の取扱いは公平か。
管理は公正か。利用者
の扱いは公平か。

③効率性が重視され過ぎ
てはいないか。

④経理の数字は正しいか。
町への納付は過去2年
間大体同じ数字。意図的
ではないのか。

管理部門の給与が、平

成27年度は1年で400
万円増え、3200万円
になったのはなぜか。

⑤3年が終わったら、文
書で評価をまとめてはど
うか。

②①運営体制、職員の配
置状況について、町営当
時は基準を相当上回って
配置していた。

指定管理後はどうなっ
たか。今回の申請ではど
うか。

②入所者数は、指定管理
前は81・3人だったが、
入りたい人が多く、収益
も上がるので、もう少し
頑張れないかと考えてい
た。

当初の申請では、目標
90人前後ではなかったか。

また、2年半の実態は。

今回の申請での予定は。

③契約内容で改める点は。
従来負担区分の基準と
していた「価格」を、「予
定価格」に改めると言う
が、小さい修繕や備品購
入では、予定価格は定め
ないのが普通。

実行価格でいいのでは。
総務課長 ①①たまに家
族から、不快感を与える
行為があったとの報告を
受けているが、施設内での
協議・意思統一、張り
紙、家族への報告等しな
がら、改善を図っている
と聞いている。

全体的に、協力医療機
関との連携なども生かさ
れ、安定した高品質のサ
ービスが提供されている
と認識している。

②③問題は聞いていない。
うまくいっていると思っ
ている。

④指定管理だから、全体
的に良いサービスが提供
されていると思ってい
る。

決算報告の時、気が付
くところは指摘したい。

⑤記録として残したい。

②①基本的には変わらない
が、指定管理の中で、
萌生会が工夫し改善して
いると思っている。

申請書では、業務密度
の濃い時間帯でのパート
等の活用が示されている。
②平成27年度は、長短計
87・42人で、4・5%上
がっている。

今回の申請は、定員95
人に近づけるのは難しい
としている。

入所者の病院への入院
等もあるので、5人程度
の余裕はやむをえない。

サービスの内容が濃く
なる方向を目指す。

③持ち込み備品等は、定
額法で減価償却した後、
希望があれば2分の1で
買い取るルールを作る。

「予定価格」は、歩掛
かり単価で積算した工事
費や、定価ではなく複数
社から見積りを取り、一
番安い価格という考え方
だ。

実際に発注した金額で 決めるのが一番公平

高田議員 責任の分担区

分を予定価格でというが、
これは非常に不明確だ。
①発注は誰がするのか。

②建物は町のもの。
これをきちつと管理す
るためには、全て町が発
注し、100万円以下にな
ったら相手からもらう
ことにすべき。

備品も、見積りで決め
るのもどうかと思う。

現在見積りと実際の取
引価格は大きく違ってい
るのが当たり前。

実際に発注した金額で
決めるのが一番公平だ。
今までそうだったので
はないか。

総務課長 ①工事は、1
00万円を基準にし、歩
掛かりで積算した額が基
準を超える場合は町が発
注、それ以下は萌生会発
注、微妙なときはよく協

議しながら行う必要があ
ると思っている。

町長 ②部内でも議論
があり、そういう意見を
他の議員からももらって
いるので、高田議員が言
っていることは、理解で
きる。

工事は、町が全部発注
できるし、その方がいい。
備品も、値段が分かり
にくい。特に医療関係や
介護関係は、定価は高い
が実際は6割とか7割と
いうこともある。そこも
考えなければならぬ。

包括協定は、その方向
で臨みたい。

— 請 願 —

「年金の毎月支給を求める請願」は採択

審査（総務文教委員会）結果

賛成 3 : 1 反対

総務文教委員会に付託された意見書の送付を求める請願は、12月5日の委員会において、慎重に審査を行った結果、賛成多数で採択すべきと決しました。

委員からは、現状のままでよい、毎月になると事務作業の増加や振込手数料の増加になると思うが、実態が把握できないから賛成できない。また、他の委員からは、公共料金等の支払は毎月であり、自己管理しやすいこと、そして困窮している人のも考えるべきであるので、賛成の立場であるとの意見が出ました。

本会議採決結果

12月9日の本会議では、全会一致で請願を採択し、意見書を可決しました。

発 議

年金を国際水準並みに毎月支給に改める意見書（要旨）

高齢者にとって年金は生活費の柱。家賃、公共料金など多くの支払いは、月単位である。

しかし、年金は2カ月に1回のため、生活に支障をきたすと訴える人も多く、「毎月支給」は、4000万人受給者の切なる要求。

高齢者の生活を守るために、意見書を提出する。

2016年12月9日

岡山県浅口郡里庄町議会

ここが賛成！

年金の毎月支給を求める声は多い

佐藤耕三議員

家賃、公共料金等の支払いは毎月で、ほとんどの人が1カ月単位で生活しているのに、なぜ年金は2カ月に1度の支給なのか。

年金の振込み直前には、食べるものがなくなりそうだ、薬が切れそうだ、といった声をよく聞く。

厚労省は、金融機関への手数料が1回につき数十億円かかるというが、実際は、1件10円で1回4億6千万円。

年金の毎月支給を求める声は、多くある。

「地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める請願」は不採択

審査（建設福祉委員会）結果

継続審査 1 : 3 反対

建設福祉委員会に付託された意見書の送付を求める請願は、12月5日の委員会において、慎重に審査を行った結果、反対多数で不採択と決しました。

委員からは、大幅に病床数の減少指標が出ている県北部の議会はどうするのか不明であり、安易な判断はできない。病床数の減少を避けたいという理解はできるが、それ以上に医療従事者の雇用確保目的が強く感じ取れる。近隣の状況で考えると現在の医療体制で問題はないなどの意見が出ました。

本会議採決結果

賛成 1 : 8 反対

12月9日の本会議では、反対多数で不採択としました。

人権擁護委員

里庄町大字里見

9283番地1

定兼 美智子氏



出初めて誓った町民の安心

議決一覧

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

議案名		議員名									議決結果
		高田卓司	岡本雅道	岡村咲津紀	小野光三	眞野博文	仁科英麿	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三	
12月定例会	議案第63号	里庄町農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第64号	里庄町職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第65号	里庄町税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第66号	里庄町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第67号	里庄町証明等手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第68号	里庄町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第69号	里庄町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第70号	平成28年度里庄町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第71号	平成28年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第72号	平成28年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第73号	平成28年度里庄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第74号	平成28年度里庄町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第75号	平成28年度里庄町公共下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第76号	里庄町介護老人保健施設里見川荘の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第77号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第78号	地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	請願第1号	年金の毎月支給を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
	請願第2号	「地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める」請願書	×	×	×	×	×	×	×	○	不採択
	発議第2号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	発議第3号	年金を国際水準並みに毎月支給に改める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※ 議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

新年の挨拶



里庄町議会議長

平野 敏弘

新年明けましておめで
とございます。

町民の皆様におかれま
しては、輝かしい新年を
健やかにお迎えのことと、
議會を代表して心からお
喜び申し上げます。

さて、本年1月からア
メリカでは新大統領にト
ランプ氏が就任し、また、
英国ではEUからの離脱
が実行に移されようとす
るなど世界情勢は新たな
ターニングポイントを迎
えそうであります。

国内では、デフレ脱却
に向け雇用環境や個人所
得等の改善が図られてい
ますが、すべての地域に
までその成果が十分に浸

透しているとはいえず、
依然として企業を取り巻
く環境は厳しい状況であ
り、景気の回復はいまだ
実感できない状況にあり
ます。

こうした状況の中、本
町におきましても、厳し
い財政状況にはあります
が、多様化する町民ニ
ーズと社会情勢の変化に
的確に対応した行財政運
営をこれからも行ってい
く必要があります。

里庄町民の代表として
私たち町議会議員一同は、
町民福祉の向上はもとよ
り、町民目線による適正
な行財政運営がなされる
よう、行政との十分な議

論を尽くし、議決機関と
しての役割と責任を果た
さなければなりません。

議員一同、これまで以
上に民意を反映させるべ
く、町民が主体のまちづ
くり、なお一層の努力
を重ねてまいる所存であ
りますので、今後ともご
支援とご協力を賜ります
よう、お願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆
様にとつて、幸せで実り
多い素晴らしい年となり
ますことを心より祈念申
し上げ、年頭のごあいさ
つといたします。



後列左から 仁科千鶴子 小野光章 佐藤耕三 仁科英磨 眞野博文
前列左から 岡村咲津紀 小野光三 平野敏弘 高田卓司 岡本雅道

一般質問

町政を問う

町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

※原稿は質問者が作成しています。

里庄町が管理していく

必要はない

総務課長／当面指定管理としてやってみよう



岡本 雅道 議員

問

里見川荘は平成4年に里庄町が開設した介護老人保健施設で、本町をはじめ近隣市町村においても必要とされた施設である。

平成26年4月1日より指定管理者制度を導入し、現在は医療法人萌生会に管理を任せている。

協定で、備品購入は30万円を超える物品は里庄町が負担し、建物等の修

繕費が100万円を超える場合は里庄町が負担をする。

昨今近隣市町村にも介護老人保健施設や各種介護施設も増えている。

財政的に非常に厳しい

状況下で、里見川荘を里庄町が維持する必要性の可否を検討する時期に来ているのではないかと。

指定管理にするということは、里庄町の持ち物

であって、なおかつ費用がかかる、手間がかかるから民間の技術を導入した対応ができる、要するに里庄町としてはお荷物の施設になっているからである。

介護老人保健施設が民間の企業になったとしても、今までは変わらな

い状況で入所もできるから、里庄町が管理していく必要はないと考える。

目的ではなく必要性について答弁を求める。

総務課長

老健施設特別会計の試算データは、平成38年度まで実施した場合を想定したもの。

この試算結果に基づき、38年度までの間は現在の指定管理者制度でも適切な運営を実施していくことが可能であると考える。

問

適切な運営ができるというのは、

24年前に里庄町がつくったもので愛着があり、3年前に指定管理者でやっていくという方向で決めたので、当面は指定管理としてやっていく。現時点ではそのようなことは考えていない。

必要性の有無ではない。里庄町が介護老人保健施設を今後も維持するかどうかについては、今までと同じように「考えてません。」ということになるうかと思うので、もう質問の意味がないので終わる。



里見川荘

岡村咲津紀
議員



子ども食堂の開設を

健康福祉課長／要望があれば支援したい

問

「子ども食堂・居場所」は、井笠管内で里庄のみが未設置となっている。近隣で次々と開設される「子ども食堂・居場所」について、町民が立ち上がれば開設してくれるのか。

子どもの貧困の把握を教育委員会はどうしているのか。

健康福祉課長

子ども食堂は、対象が貧困家庭の子ども達であったり、母子家庭の子ども達であったり、親子で参加している地域交流を目的としていたりとするさまざまなものである。

子ども食堂に関する要望は聞いていないが、必要性があり、民間で開設したいという要望があれば支援をしたい。

教育長

貧困の調査等は行っていない。

コンサルタントの委託料は

企画商工課長／契約料は1400万円

問

里庄町のマコモタケブランドの確立推進事業として3000万円の事業計画が採択された。

ブランド構築推進協議会で、どんな意見が出たのか。委員の方々には、今後どのような期待をしているのか。

新商品開発の支援で、加工品の充実に20万円の補助金申請者は町内の生産者か。また、販路拡大のための、海外は30万円、国内が20万円の補助金申請者は。

コンサルタントへの委託料はいくらなのか。

6次産業の支援としてJA給油所跡地の整備をしているようだが、店舗の契約者は誰なのか。運営管理や光熱水費は、町が負担をするのか。入居

者は。

企画商工課長

協議会は、生産者、産業界、金融界、教育機関、マスメディア、各種団体など、有識者25名で構築した。生産、開発、支援の3部会に分かれ、3つの会を交えた全体会で意見をまとめ、戦略を立てていきたい。

加工品も販路拡大も補助金申請者は、企業で取り組んでいる「まこもたけ直売所」である。

コンサル契約は1400万円ぐらいだったと思う。

農林建設課参事

契約は、町とJAの契約である。

町長

光熱費や電気代は、町が払うよ

いじめ行為が県内でトップ

教育長／小さなことも取り上げたため

問

文科省の2015年の問題行動調査報告で、不登校に関しては小・中学校ともにゼロ件という結果であった。

しかし、いじめ行為では県内でトップとなっている。

教育長の見解は。

教育長

県内の市町村別の結果では高い数値となっている。

しかし、決して子ども達や学校が荒れているというわけではない。町の幼・小・中学校は、いじめ問題に対してまず未然防止の取り組みにより、いじめは決して許されない行為であるということを指導している。

町では小さなことでもいじめの件数として取り上げているため、認知件数が多くなっている。



まこりんと里ちゃん

ツバキ油を町の特産品に

してはどうか

町長／できるところは支援する



高田 卓司 議員

問

①里庄はマコモタケを特産品として売り出しており、今まで数千万円使って今年度また3000万円販売・宣伝に使おうとしているが、生産が間に合うのか。

との解答だった。議会では嘘の答弁をしないで的確な答弁をしてほしい。

②生産のほとんどは町外の2業者がやっている。しかし人力作業がほとんどであり、いつまでも続かないと思える。

④マコモタケと、もう一つ特産品としてツバキ油を考えてはどうか。以前、町は全戸にツバキの木を配ったことがある。耕作放棄地対策としてツバキを畑に植え、搾油して特産品としてはどうか。

③昨年の9月議会で参事は「ツバキは特用作物であり農地には植えられない」と答弁しているが、私が県へ問い合わせ、調べた結果、そのようなことはない。植えても良い

⑤里庄で集めて、里庄で作ったツバキ油がこれである。(現物を示す)搾油の前作業は四ツ葉の家で行い、町内の人で作ったもの。大勢の町民が関与し特産品を作るのに、後押しはできないか。

農林建設課 参事

①栽培を始めて5年経過したが当初の2倍位の作付面積になっている。水田の耕作放棄地対策としても、一定の効果が上がっている。引き続き重点を置いていきたい。

③私の説明が悪くて申しわけない。

④新しい特産品については、現在のところ考えてない。

⑤生産量や品質管理ができ、今後の生産計画等具体的な方向が示されれば協議し支援したい。

農林建設課 課長

②今まで多額のお金をかけてきた。生産と販売のバランス

が少し悪くなっているのは事実である。

マコモタケを作りやすいようにマニュアルを作成したい。

栽培のやり方、どこへ販売し、いくらで売るかのサイクルを示し進めたい。

町長

⑤生産するメンバー・設備・場所などが必要と思う。正式に部会ができ知恵を出してもらえば、支援できるところは支援したいと思う。

問

①消防機庫及び防火用水は、非常時に必要なものである。

しかし、最近鍵がかけられている所が多く見受けられる。

どのような考えで誰が指示しているのか。

②団員も働き盛りであり、有事の際誰も近くにいないことも考えられる。

このような時、団員のOBは地元にいることが多いが、ポンプが出せない事態が考えられる。

ポンプは非常時に使うもので、いつでも町民が使えるようにしておくべきではないか。

③防火用水の扉に鍵がかかっている所もあるが、入口を設けている所もあるが、ない所はどう考えるか。

総務課長

①「ガソリンの盗難・車上荒し・いたずらなどがあり、いざという時に出勤できない」ということで、鍵をかけるようになった。里庄町消防団の方針として指導した。

②各部で鍵の保管場所やダイヤル番号を共有し、支障がない体制をとっている。

地域で話をし、対応ができるよう意思統一を図っていききたい。

③町内15カ所全てに柵を設けているが、投入口のない所は柵越しに給水管を投入できる状態である。不具合があったら言ってほしい。

消防機庫の鍵の管理について

総務課長／意思統一をしたい



試作品

佐藤 耕三 議員



荒廃地対策、 町のバックアップが必要では

農林建設課参事／農地再生の指導協力をしていきたい

問

① 以前再生できない農耕地は原野、山林にすると聞いた。これは荒廃地の対策と言えるのか。

② 農道が崩れているところは復元修理すべきでは。
③ 町がバックアップすればいろいろなことができるのではないかと。将来を考えた農業整備、荒廃地対策が必要では。

農林建設課参事

理。

① 農家台帳を整備する上での処理。
荒廃地の対策ではない。
③ 農林建設課に問い合わせてもらえば、農地再生の指導と協力をしていきたい。

農林建設課長

② 基本的に、田や畑の中の農道の受益者で管理していただきたいが、災害で崩れた等で修善が必要な箇所は対応したい。

あぜ道等を全て管理することは考えていない。

年金の引き下げを どう考えるか

町長／生活は大変だが、
原資がなければ配分できない

問

① 国民年金支給額は満額月6万5000円。この額は多いか少ないか。

② 生活が厳しい人にとって度重なる年金の引き下げは命を奪うことになりかねない。今でも食事を控え病院へ行くのを控える人がいるが、どう考えるか。

③ 仮に、年金がなくなるといった相談には、町はどうするのか。

④ 憲法25・29条には国の責務を謳っているが、憲法を守る立場にある公務員としてどう考えるか。

町民課長

① 法に基づいた額で、妥当な額と考えている。

町長

① 私は、個人的には十分ではないと思う。

② 年金生活者の人は大変だと思ふ。

はつきりしていることは、原資がないと配分できないということ。

いろいろなすり合わせの中で今の現実がある。
④ 憲法条文の細かいことはわからないが、趣旨はそれとおриだと思ふ。最善の努力をして頑張る。

健康福祉課長

③ 里庄町は福祉事務所がない。県が実施主体の生活困窮者支援制度がある。

相談に来れば、県と面談してもらい、ハローワークに行くか高齢の場合

は保護の申請をしてもらい、生活が安定するように支援する。

産業文化祭の目的は

企画商工課長／産業文化の振興と
ふれあいの場の提供など

問

① 産業文化祭の目的は何か。

② 商品の売り買いがメー

ンにならないように思う。同時に、長時間並んでも買えないなど不満の声も聞く。会場、展示物を見てとゆつくり過ごすためにもチケット制にし、一人が買える数を制限すればいい。

商売の場合、企業のPRの場合、とらえ方で変わる。

③ 町もイベントに参加しているが、全体的なのか。

企画商工課長

① 地域産業の活性化と文化の振

興を図り、町民の交流、ふれあいの場を提供すること。

② 業者を交えて検討中。産業の振興を考えれば、PRだけでなく、商売の面も欠かせない。

出店する企業にはそういうことも確認し、相談して進めたい。

③ 規模も膨らみ対応する予算も膨らんでいる。予算は抑え調整・実行していきたい。出店にかかる費用は出店者持ち。

公募委員も入れて

事業評価を行う時期では

町長／公募しなくてもいろんな場はある



仁科 英麿 議員

問

来年度当初予算の収支改善策、

① どう改善するか。

② 平成27年度末の純粋な借金総額は、30億円。

ところが広報さとしよ

う10月号では、24億円と書いていた。その意図は。

③ ①収入はどうするか。

企業誘致は、町長は消極的だったが、今も変わらないか。条件を整えるのが町長の一番の仕事。

立地企業の拡張計画は。

② 町営墓地の売却、フロイデや美しい森の利用促進策は。

美しい森は、都市部と

協定を結び、年々受け入れられる仕組みを作っては。

④ ①29年度の臨時的な支出は、どういうものか。

総務課長

① 無駄のない予算編成に努める。

負担軽減につながるものは、積極的に事業化。

③ ①町内企業等の支援やミニ開発を促す。

町税の徴収率向上に努め、各種手数料、使用料等の見直しも検討する。

④ ①浜中バイパスなど。

③ 事務事業の廃止や外部委託にも取り組みたい。

⑤ 28年度は、総額約1億7270万円の見込み。

縮減に努めたい。

⑤ 職員一人一人が評価し、目的を達成したい。

町長

② 間違ったことは、おわびする。

③ ①大切だと思うが、条件が整わないと難しい。

拡張計画は聞いてない。

④ ①仁科財団は努力不足だった。再検討する。

海外派遣は来年も無理。

⑤ 公募しなくても、いろんな場はある。

副町長

③ ②収入の増額を目指し、費用

は抑制したい。

教育長

③ ②研究したい。

教委事務局長

④ ②29年度の西小を見て、検討。

④ 英語指導助手は、県補助は難しいと言われた。

海外派遣は、今年度は治安の懸念から中止し、4日間研修等に派遣した。

その他の質問

Q 地籍調査の実施状況は

Q 調査終了後の境界杭は誰のものか

Q 調査・登記終了後の紛争の処理手順は

Q 里見川荘に関する住民訴訟の内容と経過等

問

高齢者の交通事故が多発し、運転免許自主返納の勧めが加速されている。

しかし、返納すると買い物や通院にも困るので、なかなか返納できない人が多い。

町の高齢者タクシー料金助成制度は、対象や額が限定されており、十分でないが、広げると町の出費が増える。

交通弱者の足の確保の観点から、町又は委託で、200円で、デマンド型で、いつでもどこにでも行ける、乗り合いタクシーを運行してはどうか。

企画商工課長

タクシーとの客の奪い合いになり、民業圧迫になる。

ガソリン代と運転手賃金の外、管理システムの構築、車の維持管理、運行拠点施設、車庫等、多大な経費が予想される。

そのような事業を町が行うことは考えてない。

デマンド型200円 乗り合いタクシーの運行を

企画商工課長／町は考えてない

仁科千鶴子
議員



車の助手席を改造する助成制度は

健康福祉課長／実施に向けて前向きに検討する

問

①今回、国の指定した地域の障がい者や病氣、けがなどにより、生活のしづらさのある人を対象に調査を行う。

町全体の調査をしたことがあるか。

②アンケートの結果を基に改善・実行したことは。

③車椅子を利用する人が助手席に乗るために、車の購入時の優遇措置として、助手席を改造する助成制度はあるのか。

④町道のでこぼこを直すべきでは。

かかる費用は。

分館長からの要望は。その対応の仕方は。

健康福祉課長

①平成23年度、身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神障害者手帳所持者を対象に調査をした。住まい、就労、生活や医療に関する要望を聞いている。外出時に不便、困難なことについては、介護者がいないと外出できない

24・7%、公共交通機関の利用が不便18・2%、建物内の設備が利用しにくい10・9%となった。

29年度の第3期里庄町障害者福祉計画策定の際に同様の調査を実施する予定。

②障害福祉サービスの見込み量を推計し、集まる場所の確保として四つ葉の家等を建設した。

③自動車改造および購入に対する助成対象範囲の拡大は、29年度からの実施に向けて前向きに検討したい。

農林建設課長

④分館からの要望箇所や、道路パトロールの際危険と判断した箇所を舗装、修繕している。

修繕の予算に限りがあるので、優先順位をつける対応している。

舗装補修のほとんどが舗装面の上に舗装をかぶせるパッチングという工法であり、1㎡当たり7000円から8000円

の単価で施工している。各地区分館長からよく出ている。

ほとんどがパッチング、上にかぶせる形で対応している。

問

①里ちゃん寺子屋の内容と利用人数、子どもチャレンジの利用人数は。

子どもの反応は。

②既存の施設で子どもの居場所づくりの適切な部屋はあるのか。

③公営、民営の児童館費用は補助が出るのか。

1カ月だけの子どもの居場所づくりは補助の対象なのか。

④教育コーディネーターを中心に、里ちゃん寺子屋、子どもチャレンジを含めた、夏だけの居場所づくりができないか。

既存施設で、子どもの居場所づくりを

教委事務局長／対応できる部屋はない

教委事務局長

①里ちゃん寺子屋は、月に1回土曜日の午前中に中央公民館で自学自習を基本とした学習に取り組んでいる。小学校4年生から6年生まで27人、支援ボランティアが7名で6月から事業を実施している。自学自習の初めての体験で緊張感があった。自分で勉強できるような環境づくりができています。

里ちゃんチャレンジ・ワールドは、暁天座禅101人、美しい森冒険キャンプ52人、里庄エコスクール27人、オリジナル時計作り78人、ハロウイ



がんばって勉強中

ンパーティー250人、おもしろ化学教室67人。参加してよかったという感想があり、非常に思い出に残っている事業。

②対応できる既存の部屋はない。

③条件により変わるが、補助制度というものは存在する。1カ月間での補助は確認できていない。

教育長

④一つ一つの活動を値打ちのある活動にし、工夫しながら、できることであれば、だんだん拡大していきたい。

全員で、仲良く・楽しく活動しています。

駅前子供会

駅前子供会は、幼稚園児から小学6年生までを対象とし、現在13世帯16人で活動しています。

春の総会から始まり、資源回収、夏のラジオ体操、秋の祭り、1年に1回の楽しみな親睦会があります。旅行、食事会、ボーリング大会等、その年によって変わりますが、最近では遊園地に行くことが多くなっています。

上級生は下級生を気づかい、下級生は上級生を手本とし、学年は違ってもみんな仲良しです。

また、親子共に力を一番あわせるのが秋祭りです。毎年、祭りの前3日間は、夜に集まって、子ども達は太鼓や声出しの練習をします。その横で、保護者達は神輿の飾りの準備をしています。

当日は、八幡様で奉納相撲に参加し、神輿で練り歩きます。祭りの締めくくりは、公民館で父親達は宴会に、母親達はママトークに、子ども達は体力が余っているのか、回復が早いのか、いつも鬼ごっこが始まります。子ども達にとつて、子供会という異年齢集団の中で過ごすことはとても大切なことであり、地域でのいろいろな思い出や経験は豊かな心を育ててくれると思っています。いつも活動を温かく見守ってくださる地域の皆様、資源回収や安全パトロール、募金に協力してくださる地域の皆様、心より感謝申し上げます。これからも、ご理解、お力添えの程、よろしくお願いいたします。



《第87号》

平成29年1月31日 発行

発行／岡山県 里庄町議会
〒719-0398
岡山県浅口郡里庄町
TEL(0865)64-7217
FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.okayama.jp

●あとかぎ

新春のお慶び申し上げます

早いもので、私達広報のメンバーも2年が過ぎようとしています。

この間研修を重ね、また皆様のご意見を参考にしながら、親しみやすい議会だよりの作成に努めてきました。

今年一年が皆様にとり、いい年になりますようお祈り申し上げます。

(佐藤)

編集委員

委員長：小野光章 副委員長：仁科英磨 委員：仁科千鶴子 委員：佐藤耕三

